

第1回講演会

～大人も中学生も共に「命・いのちの大切さ」を考えよう～

日時 平成22年5月6日(木)

午後1時40分～3時00分

会場 大桑中学校 体育館

講師 宮越 陽子 先生

(「電池が切れるまで」宮越由貴奈さんのお母さん)

演題 「命・・・電池が切れるまで

～病気とともに明るく そして精一杯生きた娘～」



宮越由貴奈 (小学4年)

命
命はとても大切だ
人間が生きるための電池みたいだ
でも電池はいつか切れる
命もいつかはなくなる
電池はすぐにとりかえられるけど
命はそう簡単にはとりかえられない
何年も何年も
月日がたつてやつと
神様から与えられるものだ
命がないと人間は生きられない
でも
「命なんかいららない。」
と言つて
命をむだにする人もいる
まだたくさん命がつかえるのに
そんな人を見ると悲しくなる
命は休むことなく働いているのに
だから 私は命が疲れたと言うまで
せいっぱい生きよう

宮越由貴奈 (小学4年)

講演内容

長野県立こども病院には、長期入院している子どもたちが学ぶ院内学級があり、由貴奈さんもそこで学ぶ一人でした。病気と闘い「命」と向き合わずにはいられない日々の中で、仲間と楽しく学び、明るく輝いて生きた由貴奈さんの姿を知り、いのちの尊さを感じることでのお話です。

一般の方もぜひお越し下さい。(入場無料です)

主催 大桑中学校PTA・大桑中学校 後援 大桑村教育委員会